

第4回 西東京市立田無第三中学校運営協議会 議事録

日 時 令和6年11月13日（水）午前11時から正午まで

場 所 田無第三中学校 第2音楽室

出席者 今井 文男委員 島崎 寛巳委員 本田 雄三委員 大場 愛委員

加藤 直美委員 大久保 順子校長 脇山 聖司副校長

欠席者 伊藤 慎一委員

内 容（全体進行：脇山副校長）

- 1 校長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 学校の様子について
- 4 令和7年度学校経営計画案について
- 5 その他（意見交換）

校長：前にいただいた提案を基に、笑いプロジェクトを計画している。1年生2年生を兄弟学級でやってみようかとも思っている。また、補習教室も充実させたい。例えば登校しぶりがある子を対象にしたものなどできないかと考えている。そこに地域人材を活用できるといいのだが。

本田委員：補習教室はよい取組で、以前は三中応援団でもやっていた。定期的にできるとよい。先生がいたほうが、生徒は質問もできてよい。性格的に先生に声をかけづらい生徒もいると思うので、その機会になる。

校長：ふるさと探究学習についてはご意見いただきたい。

島崎委員：子どもたちは、地域の人になっていくのでぜひやってほしい。

今井委員：今、地域の学習を継続させるのは、生徒会中心でやっていくのがいいのではないか。地域の学習が継続されている学校では、生徒会が中心となって取り組んでいる学校が多い。

加藤委員：1年生の夏休みの宿題で西東京市の好きなところを写真に撮ることをやっていたが、よい取組だった。課題として取り組むことで、西東京市のことを考えようとする機会になっていた。笑いプロジェクトは、縦割り学級はよいと思う。

大場委員：生徒会が全体を巻き込んでいくために、今の人数で足りているのか。増やしたほうがよいのではないか。

今井委員：生徒をどう育てていくのか、学校は目指す生徒像をもっている。これを教員だけが知っているのではなく、生徒にも伝えたほうがよい。大人も子どもも同じ方向を向くことは大切である。

校長：今のご意見を聞いて、行事のときに生徒像を確認するとよいと思った。

副校長：本日は、これにて閉会とする。次回は、令和6年2月27日（木）。